



デイサービスの鏡の中で

お客さんに満足感という信念で、人間の頭部という限られた領域で鍛えぬかれた技を発揮する理容師と、鏡の中で変わりゆく自分に、さまざまな表情を試すお客さん。この写真はデイサービスセンターの理容コーナーで撮影したものです。本村のデイサービスセンターでは、利用者の負担を少しでも軽減させようと理容設備も備えて、利用者と理容師さんに提供しています。県内のデイサービス施設でも、まだめずらしいといわれるこの理容コーナーは、村の理容店組合のご協力を得て実現することができました。

 広報

1995年 7 月号 (No.291)

しんとう

主 な 内 容

国際交流の話題… 2～3 ページ
6月定例議会… 4～9 ページ
スポーツハイライト10～11ページ
話題あれこれ… 12～13ページ
くらしの情報… 14～15ページ
こちら保健婦… 16ページ



米国から来村する7人の友人です

米国イリノイ州ジェネシオ町から来日し、本村でホームステイをする皆さんを紹介いたします。来村するのは七人で、一行は八月三日の夜、榛東入りし、以後十四日間に渡り本村を通じて、日本の文化や生活習慣などをホームステイしながら学んでいきます。プロフィールは、
①住所、②生年月日、③学校または職業、④部活や趣味など、⑤家族など、⑥コメント、⑦ホームステイ先の順となっています。

①イリノイ州ジェネシオ町
②1982年2月20日生
③ジェネシオ中学2年
④トランペットやピアノ演奏、おどりが好き。
⑤父母、妹一人、弟一人、ペットは犬1匹と猫5匹
⑥赤ちゃんの世話が好きな私は、いま子犬を買いたくて貯金しています。
⑦9区 小山三治宅
ニルソン ナターシャ 13歳



①イリノイ州ジェネシオ町
②1981年11月18日生
③ジェネシオ中学2年
④スピーチ、空手、ピアノと数学、水上スキーなど
⑤父母、妹一人、ペットの犬1匹と猫1匹
⑥父は水上スキーが得意で、母は教会のオルガニストで歌も抜群です。
⑦7区 土谷明映宅
キャッシュマン クリス 13歳



①イリノイ州ジェネシオ町
②1982年4月3日生
③ジェネシオ中学2年
④ソフトボール、バスケット、バレーボール、水泳など
⑤父母、弟一人
⑥父は退役軍人で、母は植物を育てるのが好き。皆さんに会うのが楽しみです。
⑦松井正夫宅(7区)
～高橋久宅(17区)
デモランビル モーガン 13歳



スペクト ボビー 13歳
①イリノイ州ジェネシオ町
②1981年11月28日生
③ジェネシオ中学2年
④生徒会、歌、ダンス、体操(床)、ソフトボール、切手収集
⑤父母、妹一人、弟一人、ペットの犬1匹と猫1匹
⑥榛東でのホームステイを楽しみに待っています。
⑦4区 柳岡武夫宅



ワッツル キャサリン 14歳
①イリノイ州ジェネシオ町
②1981年5月14日生
③ジェネシオ中学3年
④生徒会、吹奏楽部(フルート)、合唱部(アルト)、弁論部
⑤父母、兄二人、妹一人、ペットは犬二匹と魚
⑥私は榛東でのホームステイを楽しみにしています。
⑦6区 代田英俊宅



ホワイト ジェニファー 14歳
①イリノイ州コロナ町
②1980年9月15日生
③ジェネシオ中学3年
④教会、音楽サークル、ピアノ、乗馬、工芸
⑤父母、妹一人、弟一人、ペットの犬1匹
⑥私は6歳からピアノを習っていて音楽が大好き。日本のB♭も聞きました。
⑦16区 広橋隆一宅



スクラントン マービン 65歳
①イリノイ州ジェネシオ町
②1930年6月30日生
③スクールバス運転手
④旅行、スポーツ、読書など
⑤妻、ペットのコッカー・スパニエル犬1匹
⑥1993年に榛東でホームステイをしました。日本の友人との再会が楽しみです。
⑦川端真一宅(11区)
～立見宇一郎宅(12区)

榛・米親善大使となる海外派遣者十四人が決まりました

六年目を迎えた村の国際交流事業。このほど榛・米の親善大使となる一般者の四人と中学生十人が決まりました。
この親善大使となる皆さんは、八月十一日から二十一日までの十一日間、米国イリノイ州ジェネシオ町周辺でホームステイをしながら滞在します。
派遣される中学生は、写真(上)の左から松岡裕子さん(榛中二年十一区)、荻原みちるさん(同 六

区)、小林希美さん(同 八区)、都筑宏美さん(同 八区)、吉田彩さん(同 九区)、山田友香さん(同十五区)、山本亜矢子さん(榛中三年 三区)、宮崎泉さん(同 八区)、斉藤絵美さん(同 十九区)、東千尋さん(同 十区)の十人となつていきます(随行者は岡部宏行校長、浅井清隆教諭、竹村典子教諭の三人)。
一般者で派遣されるのは次の四人の方々です。



前橋西高校二年 道上智仁くん (2区)
渋川女子高校一年 金井菜穂美さん (15区)
渋川高校二年 阿部洋平くん (5区)
渋川高校二年 村上直人くん (20区)

国際交流協会の設立をめざして



六月五日、商工福祉センターにおいて、榛東村国際交流協会の設立準備会が発足しました。準備会では今後、国際交流協会の仕事内容や範囲などを検討し、来年三月の設立をめざします。
議会や区長会、学校関係者、村在住の外国人ら二十五人余りが参加して開催されたこの準備会では、県国際交流協会常務理事の勅使川原司郎氏が「国際化とは何か―求められる意識の改革―」と題した基調講演を行い、日本における国際化の現状と課題などについて語っていただきました。

イングリッシュ サマーカーニバルに参加しませんか

ことしのオープンエア・フェスティバルは、八月七日(月)から二日間、県立妙義少年自然の家でイングリッシュサマーカーニバルを行います。
一日目は、山を見る機会の少ないジェネシオなどの中学生たちと妙義登山で交流を深め、二日目は英語の模擬授業とアメリカカンライ

フと日本の習慣についてのディスカッションを予定しています。このサマーカーニバルにあなとも参加しませんか。募集内容は次の通りです。
■募集人員：五十名
■参加費用：一人二千元(一泊三食付き)
■募集対象者：年齢性別を問いません。小学生以下の方は、登山も催します。

日米文化交流会は8月9日

米国と日本、両文化のさまざまな発見を楽しみながら、来村中のゲストと交流を図る「日米文化交流会」を、八月九日(水)午後七時から南部コミュニティセンターで開催します。
係では、この交流会で日本の伝



昨年、創造の森で行われたキャンプはゲストたちも大喜び

6 月 定 例 村 議 会



第二回定例村議会（六月定例会）が、六月十六日から二十三日まで八日間の会期で開かれました。六月定例会では、二件の報告案件や平成七年度一般会計などの補正予算、条例の改正、渋川交通災害共済組合議会議員などの選挙、人事案件や土地改良事業計画などが審議され、すべて原案どおり可決されました。また請願と陳情では、継続審査となっていたものや本定例会に出された四件の案件について審議されました。さらに、二十三日に行われた通告制による一般質問では、三議員から質問が出され、熱心な質疑が交わされました。

下水道条例の制定に向けて

一般質問紙上再現

順不同・要約

▼公共下水道

負担金は異なる区域を考慮して定めた

質問▼公共下水道は、平成八年度から一部供用開始となる。その条例案の策定作業の進行状況について聞きたい。

答弁●ことし九月の定例村議会に条例案を提出する予定で、現在、その整備を進めている。

質問▼条例を策定するにあたり、特別な諮問機関などを設けて検討するのにか聞きたい。

答弁●現時点では、特別に諮問機



公共下水道工事で埋設された管も、いよいよ来年4月から重要な役割を果たすことになる

関を設けることはせず、議会の担当委員会で検討を重ねたいと考えている。

質問▼本村では、公共下水道区域

と農業集落排水区域、合併浄化槽設置区域と、それぞれタイプの異なった方式で村内の下水道化が図られる。しかし、負担金などの料金は、その方式で異なることのないよう、公平を保たなければならぬと思う。この点をどのように考えているのか聞きたい。

答弁●区域全体の事業が終了するまでには相当の期間がかかり、また建設費も相当現在と異なることが予想されるが、条例化にあたっては、さまざまな区域を考慮して、公平妥当な負担金を定めなければならぬと考えている。

質問▼条例の重要なポイント、および条文によく使われている「特

定事業場」と「除害施設」について聞きたい。

答弁●自治体で制定する下水道条例は、国の通達である「標準条例案」を参考としている。

この条例案は、管理および使用料金を定めた条例、受益者負担金を定めた条例、水洗化するための改造資金融資制度条例の三つに分かれて構成されている。

条文で使われる「特定事業場」とは、水質汚濁防止法で定められた事業場で、人間の健康に害を及ぼす恐れのある有害物質や、生活環境などを汚す恐れのある汚水などを排出する事業場をさしている。このような事業場では、有



生活環境の改善に欠かせない下水道の整備は、将来の村を支える子どもたちの大きな財産に

害となる物質を取り除く施設、つまり「除害施設」を設けなければ下水道に排水をすることができない。

質問▼宅内の下水道工事を行う工事店の指定などについて、どのように考えているのか聞きたい。

答弁●現在のところ、下水道工事指定店については、それぞれ配管工の資格者および責任技術者を置かなければならないと考えている。責任技術者の資格を取得する場合は、自治体で取得試験を行うケースが多いため、本村もそのようになると思う。

指定店の数については、各家庭の宅内工事が順調に行える程度の店数を確保しなければならないと考えている。

質問▼日本下水道協会が昨年、地方における受益者負担金の在り方をテーマとした研修会が開かれた。この研修会で説明された負担金の算定方式の移り変わりについて聞きたい。

答弁●都市部では、下水道の整備によって資産価値の上昇が期待で



1987年10月に稼働した玉村町の県央水質浄化センターへ本村の下水（公共下水の場合）も

きるが、地方ではそれを立証することが難しく、地域住民も理解しにくい。

最近の負担金に対する考え方は、水質保全、生活環境の改善、水洗化など、直接的な利益の考え方に変化している。下水道が整備され、直接の利益となるのは、浄化槽を備えなくても水洗化が図れる。地区内では浄化槽設備費が不要となり、その更新もないということが利益につながるという考え方が生まれてきた。



太陽と緑の中のニュータウンとして誕生した20区も、早17年の歳月が過ぎようとしている

補修を理由に起債対象とし、補正予算で対応しているが、実質的にはその費用を全額地域住民が負担するようになってきている。これまでの経緯について聞きたい。

答弁●本村は、これから下水道条例を策定する。これに伴い受益者負担金の問題を今後、議会とともに協議を重ねなければならぬ。

最近の受益者負担金の定め方は、建設費の末端管きよ整備費相当額をめぐって算定している。このことから二十区の場合には、すでに下水道管が整備してあり、減免規定の一つにある「物件の提供をした受益者」と解されれば、減免の対象となる考え方も一つにはあると思われる。

しかし同区の場合、供用を初めて十七年近く経過しており、その補修費もかなり高額となるため、その費用分を減免対象から差し引くという考えから、今回、地元

に協力をお願いしたものである。いずれにしてもこの件については、今後議会とともに検討を重ねなければならぬと考えている。

▼デイサービス利用者 徐々に目標の利用者数に近づきたい

質問▼デイサービスセンターの利用状況、利用希望者の把握、利用手続きなどについて聞きたい。

答弁●デイサービスセンターは、民生児童委員さんらの協力で利用者を把握し、利用登録者四十名の名簿を作成したうえで開所に臨んだ。

開所した五月十五日から六月十四日までの利用状況は、延べ利用者人数が百四十九名で一日当たりの平均利用者数は六・五人である。なお、現時点における登録者数は、若干増えて四十六人と

なっている。本村のデイサービスセンターの収

容可能人数は、一日当たり十五人となっているが施設的には余裕があり、若干、それ以上の人数でも可能かと考えている。

開所間もない施設だが、今後、一日当たり十五人という目標利用者数に近づきたい。なお、この施設は、虚弱老人、ちよ老人、身体障害者などが集まるため、疾患の伝染などを防ぐ理由で、利用者が申し込み手続きを行う際に医師の診断書を提出させている。





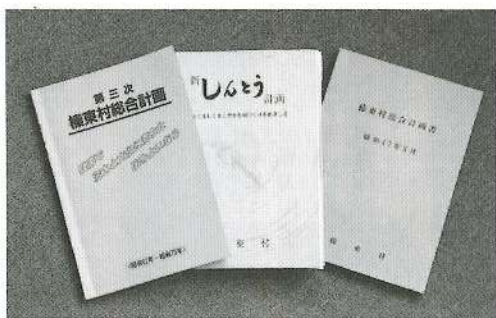
県道水沢群馬線と村道が交差する変則五差路

質問▼以前、一般質問で取り上げた桃泉地区へ向かう県道水沢群馬線の拡幅工事、その路線が村道と交差する変則五差路の改良、農耕車や一般車の通行量が多い相馬原演習場内の道路舗装改良について、現在の状況を知りたい。

答弁●県道水沢群馬線については、機会あるごとに事業主体である渋川土木事務所、その拡幅および変則五差路の改良を要望しているが、拡幅などに必要な土地の用地交渉がその家庭の諸事情で控えているような状況であり、交渉成立にはまだ時間がかかる。

桃泉周辺の道路改良 関係機関に道路拡幅 および舗装を要望中

演習場北を東西に延びる場内道路についても、管理している自衛隊に舗装改良を要望しているが、実施の話はまだない。



製本化された第1次から第3次までの総合計画

総合計画 ソフト面を確認しながら方針をたてる

質問▼村の総合計画では、建設事業などのハード面が重視される一方で、ソフト面が軽視されていると思う。第四次総合計画では、ソフト面に対してどのように取り組んでいくのか聞きたい。

答弁●これまでの総合計画でも各種ハード事業の調査に伴い、準備段階などでソフト面を取り入れてきた。第四次総合計画でも、ソフト面を確認しながら方針をたてていきたいと考えている。



昨年行われた行政座談会でも、道路に関する要望件数は多かった（写真は9区で行われた行政座談会）

質問▼第四次総合計画の年次計画では、平成八年度に道路関係の計画が多くなっている。一方、教育関係の計画は北小学校の改修や社会体育館の改修だけである。教育関係で改善の最優先とされる北小プールや中学校体育館の改修を平成八年度に実施することはできないのか。これらの事項があるのに平成八年度で道路関係の計画が多くなった理由を知りたい。

答弁●総合計画は、緊急を要するものと、そうでないものに分けて構成されたものではない。継続事業と、緊急度の度合いに応じて、

総合計画の年次計画 教育施設の整備は 実施が可能な年度に

計画的に実施するために定めた。この認識に基づいて中学校体育館や北小プールなどの教育施設の整備については、あくまでも実施可能な年度に組み入れてある。

道路については、陳情も多く、昨年行われた行政座談会でも各区で改良を望む声が多い。平成八年度は、上野幹線道路の拡幅改良、ふるさと農道整備、小規模土地改良、また市町村道の県費補助事業である十五区、十四区、十三区の東西に延びる村道金古馬場線の舗装改良も平成八年度から始まる計画である。

質問▼中学校体育館や北小プールなど早期に実施できるように、教育関係の年次計画は、財政処置などを十分に検討して定めたのか。財政調整基金や庁舎建設基金などの取り扱いを含めて検討されているのか。この二点について聞きたい。

答弁●財政処置については、財政調整基金の使い方をはじめ、ありとあらゆる方法を模索し、調査しながら最善の方法を使って、年次計画を



ふれあい館の事務所には、消防法に定められた自動火災報知システムが備えられている

ふれあい館安全対策 防災計画に基づいて 管理体制を整える

質問▼ふれあい館の施設内における事故発生状況と対策、危機管理対策、ふれあいの湯が環境に及ぼす影響について聞きたい。

答弁●開館以来、浴室内でドアのサッシで足の小指をはさんだ方と長湯でのぼせた方がそれぞれ一人ずついたため、ドアの改善および長湯をしないようにと脱衣所に表示を掲げるなど、利用者に注意を呼び掛けている。施設内における事故に対しては、個人に過失がない限り、公共施設傷害保険で対応したい。

施設の危機管理対策としては、消防法に定められた防火管理業務



施設北西の高い位置に道路があるため、露天風呂の囲いも必然的に高くなっている

に基づいて、広域消防署の協力を得ながら年一回の避難訓練を実施する。また、災害に備えて防災計画に基づいた職員の管理体制を整えたい。現在、防火管理者、危険物取扱責任者は、職員にその資格を持つ者がいる。

海水の約六分の一という塩分濃度を持つふれあいの湯は、施設の雑排水と一緒に河川へ排出されている。この排水は、水質汚濁防止法の基準を満たしており、その検査も定期的に行うので問題はないと考えている。

ふれあい館の改造 露天風呂の改造を 現在、検討中

質問▼利用者から希望されている露天風呂の改修や細かい力所の改善、サウナ設備の設置や健康歩道

の整備について聞きたい。

答弁●利用者から露天風呂の改修を望む声が多いため、現在、改造に向けて検討を始めている。ある程度の改修内容がまとまり次第、ふれあい館運営委員会や議会と協議のうえ着手したい。

なお、施設に関して利用者から出されているすべての要望にこたえるためには、費用もかなり予算処置などの手続きに時間がかかるため、早急には対応できない。

ふれあい館は、高齢者主体の保養施設という趣旨から、事故発生の際の恐れのあるサウナ設備を設ける計画はない。また、民間の化粧品会社で開発した健康歩道は、ふれあい館にマッチする設備であり、将来的に備えたいと考えている。

ふれあい館利用者 館を拠点とした活動 で村民の利用を促す

質問▼ふれあい館は、村外者の利用率が高いと聞く。村民の利用率を向上させることについて、どのように考えているのか聞きたい。

答弁●五月にふれあい館を利用した人の総数は、延べ二万一千四百八十四人で、その内訳は村内が四四・二割、村外が五五・八割となっている。この値では七十歳以上のお年寄りが、すべて村内にカウントされているが、やはり村外者も

混入しているのではないかと考えている。村民の利用率をあげるために、六、七、八月の三カ月間の営業時間を一時間延長し、夜九時までとしている。

このほか村民の利用率をあげる対策としては、ボランティア組織などを拡充して、一人でも多くの村民がふれあい館を拠点としたさまざまな活動に加わっていただく中で、利用率の向上も図りたいと考えている。

ふれあい館の売店 農産物販売用のテナ トを庭に整備したい

質問▼福祉施設であるふれあい館内で売られている商品の販売について、その理由と内容、業者の選択基準、販売に関する今後の展開



ふるさと公園特製の手打ちうどんなどが陳列されているふれあい館の売店

などについて聞きたい。

答弁●館内で販売されている商品は、開館前に行った村民無料開放の際に、利用者から出された要望にこたえたものである。

菓子類は社会福祉協議会で村外業者から仕入れて販売している。それ以外のお弁当やまんじゅう、酒類はすべて村の商工会に販売を依頼している。これらの販売で得られた利益は、施設の運営に少し役立てばと考えている。

館内における販売を拡大するなどの考えはないが、庭へ仮設テントを設け、利用者が要望している農産物の販売を検討したい。今後、ふれあい館運営委員会や議会とともに協議を重ね、秋の収穫時期までに結論を出したいと考えている。また、グリーン・ツーリズム整備事業の一環として、ふれあい館の活用も検討している。



夕方大勢の利用者でにぎわうふれあい館

可決された議案は

平成七年度一般会計 補正予算

歳入歳出の予算総額に、歳入歳出それぞれ二百三十八万九千円を追加し、補正後の予算総額を歳入歳出それぞれ四十一億九千五百三十八万九千円としました。

この補正は、公共下水道事業特別会計の補正に伴って、繰出金を三百五十万円追加したことが主な理由となっています。

平成七年度公共下水道 事業特別会計補正予算

歳入歳出の予算総額に、歳入歳出それぞれ七千円を追加し、補正後の予算総額を、歳入歳出それぞれ三億五千二百五十万五千円としました。

平成八年四月から始まる公共下水道の一部供用開始に伴い、二十区内の既存下水道管を補修することなどが、補正の理由となっています。

平成七年度老人保健 特別会計補正予算

歳入歳出の予算総額に、歳入歳出それぞれ八百三十一万八千円を出し、補正後の予算総額を、歳入歳出それぞれ一億四千七百三十一万八千円としました。

追加し、補正後の予算総額を歳入歳出それぞれ六億六千七百二十万一千円としました。

これは平成六年度老人保健特別会計予算に歳入不足が生じるため、その不足分を平成七年度予算から繰り上げ充用することに伴う補正です。

村小口資金融資促進 条例の一部改正

これは県小口資金融資促進条例の一部改正されたことに伴い、融資対象中小企業の資本金額を見なおしたほか、融資限度額を二百万円引き上げて七百万円に改めるものです。

村温泉資源保全審議会 条例の設置

しんとう温泉の恒久利用と、温泉権に関する諸問題に対応するために、村温泉資源保全審議会を設置しました。

土地開発公社の経営 状況報告

平成六年度の経営状況および、平成七年度の事業計画と収支予算計画が報告されました。

平成六年度は「ふれあい広場」の用地取得に伴う受託事業が行われ、ふれあい館の西に二万一千七百六十六平方メートルの公共用地を取得しました。公社の資産内容は、平成六年度末現在で、資産の部が三億七千九百四十七万八千八百六十七円、負債の部が三億六千六百八十七万六千九百五十円、差引純資産は一千二百五十九万四千九百二十六円となっています。

平成七年度は、ふれあい広場の維持管理費として、十三万六千円が予算化されています。

村第四次総合計画 基本構想の策定

村の目指すべき将来像を明確にし、将来を見通した体系的な整備の指針となる村第四次総合計画を、地方自治法の規定に基づいて定めました。

交通指導委員設置 条例の一部改正

村防災計画の見直しに備えて、地震や風水害などの災害発生時における交通安全指導および交通事故防止を、交通安全指導員の活動内容に加えるなど改めました。

固定資産評価審査委員 の選任

固定資産評価審査委員の岩崎市松さん（十区）が六月二十七日任期満了となったため、後任に八区の小山貞一さん（農業 六十八歳）―写真―を選任しました。任期は三年間です。



公平委員の選任

任期満了となった公平委員の阿久澤廣吉さん（十一区）の後任として、七区の高橋泰輔さん（農業 七十歳）―写真―が選任されました。任期は四年間です。



土地改良事業計画

新井の笹熊地区で行う村営笹熊土地改良事業（ほ場整備事業）の承認を得ました。

このほ場整備事業により、農用地四・五畝（道水路などを含む）が整備されることになります。

浜川地区広域市町村圏 振興整備組合議員の選挙

浜川広域組合議員については、本村議会から三人選出されています。一名は議長、残る二名は選挙で選出されていますが、この組合議員を務めていた森田文雄議員が辞任したため、本定例会において選挙を行ったところ、善養寺信夫議員が当選しました。これにより

浜川地区農業共済事務 組合議員の選挙

浜川地区農業共済事務組合議員を務めていた星野正美議員と一倉悦雄議員が辞任したため、後任として山口初雄議長と三俣重信議員が選出されました。これにより本村議会から選出される浜川農業共済事務組合議員の構成は、山口議長と三俣議員および阿久澤茂雄議長

浜川交通災害共済組合 議員の選挙

この組合議員は二人（うち一人は村長）で、今回、山口初雄議長が選出されました。

本村議会から選出される浜川広域組合議員の構成は、山口初雄議長と大塚吉雄副議長および善養寺議員の三名となります。

請願と陳情

6月定例会では、陳情3件と請願1件が審議されました。このうち陳情と請願のそれぞれ1件が採択になったほか、一部採択および継続審査がそれぞれ1件となりました。

採択 第九区長の内海一夫さんおよび区長代理の牧口精兵さんと牧口又一さんから出された「南小学校児童の通学および公共施設利用者の通行量が多い未舗装道路（牧口工務店東）の改良舗装工事をお願いする請願」は、採択となりました。

一部採択 第十九区長の久保田富雄さんおよび区長代理の黒沢多門さんから出された「第十九区村道宿十号線他の改良舗装をお願いする」陳情は、一部採択となりました。

継続審査 全群馬教職員組合執行委員長の鈴木恭二さんと県高等学校教職員組合執行委員長の嶋津良夫さんから出された「学校五日制拡大に伴う学習指導要領の抜本的見直しを求める意見書採択について」陳情は、継続審査となりました。



採択 非核の政府を求める群馬県民の会代表世話人の谷晃瑞さんほか八名から出された「非核平和自治体宣言」の決議を要請したい陳情は、その趣旨に賛同して採択となりました。

農業委員の選任

議会推薦で選任されて農業委員を務めていた一倉悦雄議員が辞任したため、後任として経済委員長に就任した三俣重信議員―写真―



議員提出議案

六月定例会では、意見書の提出に関する次の議員提出議案が、審議のうえ承認されました。

◆「核兵器廃絶平和都市宣言」の決議書

委員会で改選

本定例会では、常任委員会や特別委員会が改選があり、総務常任委員会の委員長に善養寺信夫さん、文教厚生常任委員会の委員長に早坂通さん、産業経済常任委員会の委員長に三俣重信さん、基地対策特別委員会の委員長に一倉悦雄さんがそれぞれ選ばれました。

このほか副委員長の改選もあり、結果は左の表に示す通りとなりました。

表・所属委員会一覧（敬称略）

氏名	所属委員会
山口初雄	議長 建設委員会
大塚吉雄	副議長 総務委員会
善養寺信夫	◎総務委員会 総合開発
細野富保	○総務委員会 議会運営
森田文雄	総務委員会 議会運営
小山弥三郎	総務委員会 ○総合開発
早坂通	◎文教厚生委員会 議会運営
星野正美	○文教厚生委員会 議会運営
石坂恒雄	文教厚生委員会 議会運営
村上隆一郎	文教厚生委員会 ○議会運営
小山 勇	文教厚生委員会 基地対策
三俣重信	◎産業経済委員会 基地対策
阿久澤茂雄	○産業経済委員会 基地対策
一倉悦雄	産業経済委員会 ◎基地対策
岩田 儀	産業経済委員会 ◎総合開発
立見宇一郎	産業経済委員会 ○議会運営
高橋 亨	◎建設委員会 総合開発
岡部秀夫	○建設委員会 総合開発
富澤恒安	建設委員会 総合開発
小林 肇	建設委員会 ○基地対策



「社会を明るくする運動」の打ち合わせをする保護司と更生保護婦人会の皆さん

第45回

「社会を明るくする運動」

7月1日～31日
主唱 法務省

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

重点目標

少年の非行防止と更生の援助のため、地域住民の理解と参加を求める

わが国の少年非行の現況は、量的には減少傾向にありますが、交通関係業を除く刑法犯検挙人数では、そのほぼ半数と高い比率を占めています。

その内容を見ると、経済的に不自由のない普通の家庭の少年による「遊び」を動機とする軽微な窃盗・横領の比率が高い反面、大麻

のような薬物に手を出す事例が増加し、また、「いじめによる自殺事件」に見られるような重大な結果につながる悪質な恐喝、暴力行為などの事件が発生するなど、少年非行は依然として心配される状況にあります。

こうした状況の背景としては、地域社会における人間関係の希薄化や家庭における育成機能の低下、社会の法律や規則に従う精神の低下など、少年を取り巻く環境の悪化などが考えられます。

これに対処するためには、地域住民の理解と参加のもと、人格が形成途中の少年に対して、強い影響力をもつ家庭、学校、職場および地域社会が一体となって、社会

ふれあいと 対話が築く 明るい社会



■ 村民軟式野球大会 ■

18区が2度目の優勝

区対抗の村民軟式野球大会が、5月7日から6月10日まで、総合グラウンドで行われました。

23回目となったこの大会に昨年より3チーム多い18チームが参加。雨天続きのため準決勝からナイターになり、照明がともるグラウンドで行われた決勝戦は、9年ぶりに勝ち進んできた12区と一昨年初優勝の18区が対戦。打撃戦を繰り広げた結果、8対4で18区が12区を下し、2年ぶり2回目の優勝杯を手に入れました。

個人賞では、18区の山崎雅彦さん一写真一が最優秀選手に、12区の井上英人さんが敢闘賞に、それぞれ選ばれました。



体育指導委員会より

スポーツ指導
出前します！

体育指導委員会（委員長・一倉勇さん2区）では、子どもからお年寄りまで、すべての皆さんが生涯にわたってスポーツと親しんでいけるようにと、「スポーツ指導出前スクール」を行っています。

現在、三つの行政区を対象としてこのスクールを実施中ですが、これ以外にも村民で構成されるものであれば、どんな団体でもかまいません。友だち同士や組織団体で集う機会に、気軽にできるインディアカやベタンク、スマイルボウリングなどのニュースポーツを楽しんでみませんか。連絡をいただければ指導委員が会場へ出向いて競技を指導します。また、指導委員とニュースポーツの腕を競ってみたいというご希望にもおこたえます。

▶申し込みと会場のご相談については、教育委員会社会教育課（☎54-2765）まで



南小体育館で体育指導委員の指導を受けながら、インディアカを楽しむ14区の皆さん

■ 村民卓球大会 ■

榛中H₂が団体に優勝

平成7年度の村民卓球大会が、6月11日、社会体育館で行われました。

団体戦と7クラスに区分けされた個人戦を行うこの大会に、中学生を含む延べ85人が参加。成績は次の通りです（○内順位 敬称略）。

【団体】①榛中H₂②3区D③3区A
【個人戦】▶少年男子①山本和弥（2区）②飯塚篤史（11区）▶同女子①柳岡恵理子（4区）②高野辺香（3区）▶一般男子①細野英雄（15区）②前島清（20区）▶同女子①岡野多恵子（3区）②柳岡ふみ江（4区）▶シニア男子①前島清（20区）②星野富美男（3区）▶セミシニア①山藤久江（3区）②岡野多恵子（3区）▶混合ダブルス①田中賢（7区）内海美加（13区）組②森田五郎（3区）大塚絵里（10区）組



微妙なカットでさまざまな変化球が生まれる卓球のサーブ

■ 親子卓球大会 ■

石川（敏雄・英治）親子がV

6月10日夜、親子卓球大会が社会体育館で行われました。

親子20人余りが参加したこの大会では、卓球を通じて親子のふれあいを深め、体育館には元気な子どもの声と、軽やかな卓球ボールの音が響きわたっていました。成績は次の通り（○内順位 親・子の順/敬称略）。

①石川敏雄・英治（3区）②善養寺珠代・美奈（3区）③根岸美津子・香水（11区）、③細野英雄・智仁（15区）



優勝した石川さん親子のプレー

■ 村民ビームライフル大会 ■

21区415点で団体を制覇

6月17日、北小体育館において第12回村民ビームライフル大会が行われました。

全国でも村で開催するのは珍しいというこの大会は、昭和58年の「あかぎ国体」を契機に始まったもの。手軽さと安全性を引くだご味を味わえることとあわせて128名が参加。

ライフル協会指導員のアドバイスを受けながら集中力を競った結果、団体優勝は、415点（5人の計）をマークした21区で、準優勝は397点の5区B、3位は379点の3区となりました。個人戦の成績は次の通り（○内順位・得点 敬称略）。

【個人戦】①94狩野美雪（2区）②92岩崎順子（10区）③90石坂よし子（20区）④89岡本恵美子（21区）⑤89小山枝里（9区）

【年齢別】▶60歳以上①84石川伍市（21区）②81園田智章（9区）③77小畑松憲（7区）▶41～59歳①88岡部政雄（10区）②88中澤貞祇（21区）③88蜂巣保雄（12区）▶補助枕なし①86宮澤敬一（21区）②84岡野哲也（3区）③84鶴巻雅男（21区）

■ 青少年錬成剣道大会 ■

スポ少剣道部員活躍

6月11日、子持村の子持中学校体育館で行われた第26回渋川北群馬剣道連盟青少年錬成剣道大会において、本村スポ少剣道部員が活躍しました。成績は次の通り（○内順位 敬称略）。

▶小3男女混合②浅岡友美（15区）③須藤和毅（10区）③吉江将志（9区）▶小4女子①吉田雪之



■ 女子スマイルボウリング大会 ■

5区が優勝スマイル

8回目を迎えた女子スマイルボウリング大会が、6月18日、北小体育館で行われました。

手軽にできるところから、若いお母さんなどに好評となっているこの大会に、ことしは17チーム延べ119人が参加。子どもたちの声援を受けながら、熱戦を繰り広げた結果、ストライクの歓喜が会場にひととき高く響きわたった5区が優勝カップを手に入れました。以下、準優勝に9区、3位に1区という結果となりました。



最後のピンをクリヤーした際に見られる喜びの瞬間から

■ 村民バレーボール大会 ■

1区が念願の初優勝

6月25日、平成7年度の村民バレーボール大会が自衛隊体育館で行われました。

16チームが参加したことしの大会。コート3面で熱戦が繰り広げられた結果、決勝戦は昨年と同じ1区と3区の対戦に。決勝戦は1区が昨年の雪辱を晴らすかのような勢いで2セットを先取し、初めての優勝カップを手に入れました。3位は4区と7区。個人賞は1区の菅利久さんが最優秀選手に、3区の岩田純次さんが敢闘賞に、それぞれ選ばれたほか、小林秋雄さん（7区）、高田淳吾さん（4区）、大竹勝さん（8区）、牧口正明さん（9区）の4人がバレー部賞に選ばれました。



女子選手も活躍したバレー

骨粗鬆症を防ぐには...

最近、人口の高齢化とともに注目されているのが、「骨粗鬆（しょう）症」という骨の病気です。骨粗鬆（しょう）症の「粗」はあら、い、「鬆（しょう）」はス、大根にスが入ったようにスカスカになり、もろくなっているという意味です。もう



負担がかからないと、骨からカルシウムが溶けだしてしまうことになります。
三、適度に紫外線を浴びてカルシウムの吸収率をアップしよう
日光を浴びることでビタミンDがつくられ、カルシウムの吸収率を高めます。日光浴といっても戸外を散歩する程度で十分です。あまり家に閉じこもらずに普通の生活をしていれば問題ありません。

ことも多く、そうなる背中や腰が曲がり、身長が縮んだ背中や腰に痛みがきます。

予防のポイント

一、カルシウムとビタミンDを毎日の食卓に

骨粗鬆（しょう）症予防のポイントには、カルシウムを毎日たっぷりとることです。しかし、カルシウムはとる食品



によって体の吸収がまったく違います。最もカルシウムの吸収率の高い牛乳でも約五十割、魚では約三十三割、野菜では約十七割といわれています。そのため、体への吸収を高めるビタミンDを多く含む食品と一緒に食べるのが大切です。
ビタミンDは、いわし、かつお、さば、干ししいたけ、レバーなどに多く含まれています。
二、こまめに体を動かして骨を丈夫にしよう
適度な運動によって骨に負担をかけてやると、カルシウムの吸着が促進されて、丈夫な骨を形成することができます。逆に



おめでた

おくやみ

○お誕生おめでとうございます
※カッコ内は保護者の名前

女の子

- 7区 加部 光世ちゃん 4月18日生
- (泰史さん)
- 5区 青木 小百合ちゃん 4月20日生
- (繁さん)
- 13区 一倉 彩夏ちゃん 4月22日生
- (恵一さん)
- 2区 小林 真綾ちゃん 4月25日生
- (一裕さん)
- 13区 細野 友貴ちゃん 4月30日生
- (正浩さん)
- 10区 鈴木 優生ちゃん 5月2日生
- (政男さん)
- 15区 小池 葉琉ちゃん 5月18日生
- (勝美さん)
- 9区 金井 香篤ちゃん 5月19日生
- (保さん)
- 8区 岩田 龍樹ちゃん 4月27日生
- (美穂さん)

- 10区 風間 翼ちゃん 5月5日生
- (純さん)
- 2区 高橋 真弘ちゃん 5月7日生
- (幸治さん)
- 13区 一倉 智規ちゃん 5月18日生
- (仁志さん)

●お悔やみ申し上げます

- 7区 森田 ぎんさん 85歳
- 8区 柳岡 武男さん 75歳
- 9区 小山 しづかさん 44歳
- 16区 廣橋 今朝八さん 70歳
- 18区 山口 ト子さん 86歳
- 19区 清水 隆由さん 82歳

(この欄に掲載を希望しない場合は、届け出のとき窓口までその旨お話ください)

お詫びと訂正

広報6月号3ページの善意銀行で紹介した福島福弥さんは、牧島福弥さんの誤りでした。お詫びして訂正します。



3区 萩原 聖貴ちゃん
(一・寛子さんの長男 1歳)

「男の子らしく元気にたくましく育ってほしいですね」

村内の交通事故

(6月末日現在の累計)

- 事故件数 22件 (-6)
- 死者 0人 (±0)
- 傷者 26人 (-13)

※()は前年同期対比

シートベルトは必ずしましょう

人口と世帯

(6月1日現在)

- 総人口 12,801人 (+30)
- 男 6,617人 (+9)
- 女 6,184人 (+21)
- 世帯数 3,892戸 (+13)

()は対前月

こちら編集室です

夏風邪をひいて、久しぶりに三十九度という熱を出し、家族や職場の皆さんに心配をかけさせてしまいました。私も健康管理には気を付けていたつもりでしたが、どこかに気のゆるみがあった証拠でしょう▼▼本村の県下における交通事故第一当事者のワースト順位はいまのところ昨年ほどの悪いレベルではありません。しかし、これは統計上の問題。一瞬の気のゆるみで実際に交通事故をおこして、痛い思いや悲しい思い、周囲の人々に心配をかけるのはドライバー自身です。(繁)